

農地・水・環境保全向上対策における活動情報

芳賀町の2活動組織で水田魚道を設置した。

活動日：平成20年6月28日（土） 8：30～（与能地区）
13：00～（西水沼地区）

活動組織名：与能資源保全会
西水沼地域農地・水・環境保全会

設置アドバイザー：メダカ里親の会 4名

参加者：与能地区 25名、西水沼地区 17名

費用：資材等5～8万円/ヶ所、アドバイザー料35千円/4名（半日）

設置状況

（与能地区）

- ・ 大川（幹線水路）沿いに3ヶ所設置
- ・ 幹線水路は、二次製品による2面装工であるが、川幅が広く流量も豊富にある。
- ・ 平成19年度の生きもの調査で多くの生物が確認されており、効果が期待される。

<与能1>



<与能2>



<与能3>



（西水沼地区）

- ・ 支線排水路および用水路にそれぞれ設置
- ・ 支線排水路は部分的に護岸されているが、土水路であり、草等の繁茂により魚類の隠れ家も確保されていることから、生物は多様に生息すると思われる。（調査は未実施）
- ・ 用水路も上記支線水路へ流入する水路で水路感の段差はほぼ無いので、排水路から用水路への遡上は可能な状態である。

< 西水沼 1 >



< 西水沼 2 >



管理についてアドバイス

- ・ 魚道は水が入るとたるみ、また、ゴミや藻がたまるので、水の高さや流速も注意しながら、しっかりと維持管理をしてください。(メダカ里親の会)

地域の声

- ・ 魚道を設置することで子供たちに生きものに接する機会を与え、喜んでもらえるようにしたい。
- ・ 魚道の効果が見えれば、今後も増やしていきたい。効果が無ければ、効果の現れそうなところへ移動させる。
- ・ 地元の人もたくさん参加してくれたので、地域の意識が高いことが再認識できたし、作業もはかどった。
- ・ 近くの学校と連携して、今後調査等を実施していきたい。
- ・ 今年は、生きもの調査を昨年実施した箇所と魚道設置の水田の2ヶ所で実施したい。

設置後の状況

与能地区では、設置後に魚道出口に“ウケ”を設置して、遡上状況を毎日調査している。(当分の間、続けていきたいとのこと)

(7/1の状況)

与能の施設には、ドジョウ、フナ、タモロコ等多数の魚体が確認できた。特に与能1(最下流)では、河川から排水路の間に遡上阻害の施設(堰等)がないため、200匹近い数が確認できた。

また、流水により施設がたるんだり、破損するのを防ぐため、補強を実施した。



一晩でこれだけ遡上した



補強工事の様子